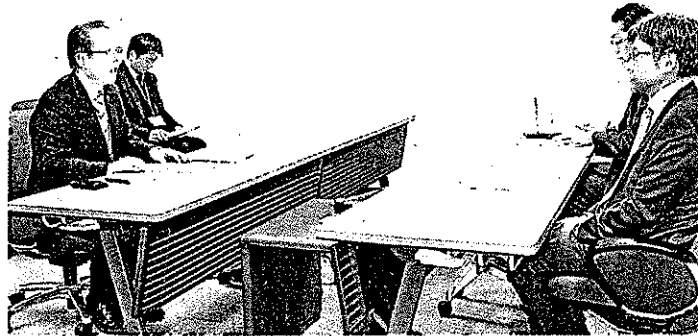


荻野原子力規制庁次長(手前右)に住民向けのビデオ作成を要望する中塚おおい町長(同左)
= 6日、同庁

3/7
福井



審査の説明ビデオ要請

おおい町が規制庁に

大飯3、4号 住民理解向け

関西電力大飯原発3、4号機が再稼働の前提となる原子力規制委員会の安全審査に事実上合格したのを受け、おおい町の中塚寛町長は6日、原子力規制庁の荻野徹次長と面談し、住民理解に向け、審査内容をまとめたビデオを作成するよう要望した。

中塚町長は「3年7カ月の長きにわたり慎重に審査していただいた。どのような審査がされたのかなど、地元に分かりやすく説明することが国の責務」と強調。住民がケーブルテレビで生活リズムに合わせて何度も視聴できるようにビデオ制作を求めた。

荻野次長は「合格した段階に至れば、要望に応じて検討したい」と話した。

同町でビデオ放映で住民から疑問が出れば集約し、原子力規制庁に回答を求めたい考え。面談後、中塚町長は再稼働への同意について「規制庁としての地元への説明や地元住民などの意見を受け止めながら構築していく」と述べた。

規制委は2月、大飯3、4号機が新規制基準を満たしているとする「審査書案」を了承しており、早ければ4月には合格証に当たる「審査書」を決定する見通し。

審査内容を解説するビデオは、関電高浜原発3、4号機が審査合格した2015年、高浜町の要望を受け原子力規制庁が作成している。

(五十嵐靖尚)